

ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン 宮城山形

日時

8/23 (日)

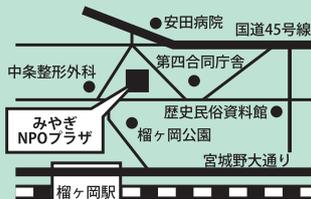
13:30~16:30

(受付開始13:00~)

●会場

みやぎNPOプラザ

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
電車:仙石線榴ヶ岡駅 下車徒歩7分



●定員 50名(申込不要)

●参加費 一般1000円、
当事者、経験者無料 ※家族参加は一人分で可

司会進行:池上正樹(ジャーナリスト)

内容

1限目: ひきこもり大学 社会通念学部

[テーマ]

発達障害による社会通念における
多角的思考領域の促進

講師:鹿間健史



発達障害 (アスペルガー症候群)

1981年生 34歳

幼少期より人と何かが違うと感じる。

学生時代は授業に参加せず本から学ぶ。

社会に出ても、世の中の人間関係に苦しみ動めてはひきこもるを繰り返す。

昨年12月に病院で発達障害と診断されてから、自分の使い方を編み出し、

現在 NPO 法人から、ころセンターにて就労継続支援 B 型を利用しながら、

発達障害者やひきこもりのサポーターを目標に活動中。

2限目: 社会共同構想創造学部

『みんなで器を広げあおう学科』

[テーマ]ひきこもりもキャリアにできる

自分と社会になるためのひきこもりテラシー

ひきこもり・不登校・ニートなど、一般に空白期間や「負の選択」とみなしがちなものすべて、「キャリア」にもできるくらい器のデカイ自分と社会を創るためのリテラシー(知恵・活用力)を学び合おう。

講師:高橋優磨

元不登校・ひきこもり・ニート。「NEET 株式会社取締役」・「ひきこもり大学講師」・「感放塾生」などの貴重な経験に恵まれ、自分と社会それぞれの器を広げてゆきたいという思いがさらに強まる。「うつわびらき」の一環として、今夏に「えばな行政書士事務所」をひらく予定。

3限目: それぞれのグループからの発表と共有

ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

※フューチャーセッション庵IORIとは、「ひきこもりが問題でない社会」の実現を目指し、多様な立場の人たちが集まる対話の場。2012年から東京都内にて隔月で開催されています。

主催:全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

共催:NPO法人宮城県「タオ」

NPO法人山形県「から・ころセンター」

協力:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

お問い合わせ

キャラバン専用メールアドレス

info@khj-h.com

または

03-5944-5250(KHJ本部)

080-3193-6715 (武田)

※都合により内容等が変更になる場合があります。

